

ミヤマウイキョウ

Tilingia tachiroei (Franch. et Sav.) Kitag.
セリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は4箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が亜高山に限られているため、県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では勝山市、大野市で確認されている。

種の特徴

高山の岩石地に生える多年草。茎は直立し、上部は分枝し、高さは10～30cmになる。葉は有柄、1～4回3出複葉で、小葉の裂片は狭線形で幅0.5～1mm、全体無毛。分果の油管は各背溝下に1個、合生面に2個。

生育を脅かす要因

生育地である亜高山の植生の変化。温暖化による生育地の減少。登山道整備での注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

ヒモカズラ

Selaginella shakotanensis (Franch. ex Takeda) Miyabe et Kudô
イワヒバ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地に限られる。陽地の岩上に着生するため、森林化すると消失する。園芸採集のおそれもある。

分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では嶺南西側、嶺北では丹南、奥越などに点在する。

種の特徴

山地の岩場に生育する常緑性のシダ植物。茎は匍匐し、長さ約10cm、よく分枝する。葉は濃緑色、茎に螺旋状につく。葉の先には毛状突起がある。孢子嚢穂は小枝に頂生し、孢子葉は4列に並ぶ。

生育を脅かす要因

産地局限、自然遷移、園芸採取。

参考文献 岩槻邦男（1992）、福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○					○		○		○			○	○	

ナガホノナツノハナワラビ

Botrychium strictum Underw.
ハナヤスリ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地に限られている。特に近年個体数の減少が目立ってきた。園芸目的の採集が見られるので、要注目から県域準絶滅危惧とする。

分 布

全国分布は北海道～九州まで。県内では嶺北地方で4箇所、嶺南地方に1箇所生育。

種の特徴

夏緑性のシダ類。山地のやや湿った林床に生育。葉は二形性で、栄養葉と孢子葉をもつ。高さは同程度。栄養葉は水平に開き、3回羽状で孢子葉は2～3回羽状で幅狭く棒状。やや稀に生育。

生育を脅かす要因

開発、森林伐採、採取圧、環境悪化。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）
福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○									○			○	○	○